

卒業の認定に関する方針

せいとく介護こども福祉専門学校では、保育士・幼稚園教諭・介護福祉士の養成校として、卒業生が福祉および教育現場のニーズのこたえ、将来にわたって長く活躍できる人材となることを目指しており、所定の期間在学し各学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して単位取得し、卒業までに以下の通り学科ごとに示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定する。

介護福祉科

- ・個人の尊厳の保持と自立した日常生活のために、常に利用者の立場に立って誠実に業務を行う姿勢を備えている。
- ・介護に関する知識及び技能の向上に努め、介護を取り巻く環境の変化や利用者個人の介護需要に適応していこうとする姿勢を備えている。
- ・介護の専門職として自律的に介護過程を展開し、チームワークとしての個別ケアを実践できる。
- ・地域の中で施設・在宅を問わず利用者の望む生活に向けて、身体的な支援だけでなく、心理的・社会的な支援も展開できる。
- ・利用者の心身の状況に応じて福祉サービス等が総合的かつ適切に提供されるよう関係職種と連携して業務を行うことができる。

こども福祉科

- ・こどもが望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、現在をいかに生活し何を育むかを常に考えながら、保育者として1人1人のこどもに向き合える。
- ・こどもの健康や安全のために適切な配慮をすることができる。
- ・1人1人のこどもの置かれている状況や発達過程を的確に把握し、それに応じた保育が展開できる。
- ・こどもが生きる力の基礎を培うために、豊かな体験をできるような環境を整え、保育の実践を工夫することができる。
- ・障がいのあるこどもの自立に向けた成長発達のために必要な支援を考え実践できる。
- ・こどもの健やかな育ちのために、家庭と連携し必要な保護者支援を行うことができる。